

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	建築演習 4	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名		開設期	後期	
対象年次	2年次		科目区分	必修	時間数	60時間	
単位数	2単位				授業形態	講義、実習	
教科書/教材	必要に応じ資料を配布						
担当教員情報							
担当教員	山田 盛久 他				実務経験の有無・職種	有・建築設計・監理 一級建築士	
学習目的							
この科目は、問題発見・解決プロジェクトを通して創造力を育成するのが目的である。デザイン思考を育成する上では、案を出して試作をつくり検証する過程を経ることで創造力は育成されると考える。そこでプロジェクトでは必ず成果物を要求することとし、最終的には展示会等で発表することを1つの到達点として進める。							
到達目標							
この科目では、プロジェクトの中でデザイン思考を育成する上で、様々な観点から案を考え、更に試作をつくり検証する過程を経ていくことを主眼に置いている。したがって、プロジェクトの思考過程は常に記録に取り、どのような変遷を経て最終形になったかを見つめ、最終的には展示会等で発表し他者から評価を得ることを1つの到達目標として設定する。							
教育方法等							
授業概要	この科目を受講する学生は、問題発見・解決するためのプロジェクトに取り組む過程でデザイン思考を学ぶ。解決案を複数提案することとで能動的な学習を行う。						
注意点	この科目では、学生が、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	レポート	70%	業務内容の理解度を確認するために実施する				
	出席状況	20%	時間を守り授業の取り組み度合いを評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	問題発見・解決プロジェクト（1）		プロジェクトの中間報告会				
2回	問題発見・解決プロジェクト（2）		試作品作成①				
3回	問題発見・解決プロジェクト（3）		試作品作成②・検証				
4回	問題発見・解決プロジェクト（4）		試作品作成③・検証結果から修正				
5回	問題発見・解決プロジェクト（5）		試作品作成④				
6回	問題発見・解決プロジェクト（6）		試作品作成⑤				
7回	問題発見・解決プロジェクト（7）		試作品作成⑥				
8回	修了制作／プロジェクトワーク		修了制作 作業指導／プロジェクトの最終成果品作成				
9回	修了制作／プロジェクトワーク		修了制作 作業指導／プロジェクトの最終成果品作成				
10回	修了制作／プロジェクトワーク		修了制作 作業指導／プロジェクトの最終成果品作成				
11回	選抜講評会		卒業制作 講評会を聴講				
12回	プロジェクトワーク		プロジェクトの最終成果品 制作				
13回	プロジェクトワーク		プロジェクトの最終成果品 制作				
14回	プロジェクトワーク		プロジェクトの最終成果品 制作				
15回	展示会		展示会において発表				